

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月）

留学先：The University of Findlay

氏名：渡辺夏実

こんにちは。フィンドレー大学へ留学中の渡辺です。新年あけましておめでとうございます。2019年はアメリカでの交換留学を筆頭に出会いや学び、経験に溢れた1年になりました。2020年はそれらを越えたものになるよう、1日いちにち噛みしめていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ致します！さて、1月は冬休み後半から始まり、春学期スタートと文字通り目まぐるしく環境が変化した月でした。本報告書ではその様子を記していきたいと思えます。

● 冬休み後半

✓ 人生初の日本以外での年越し



冬休み後半は主に西海岸で過ごしました。クリスマス当日にワシントンからロサンゼルスに飛び、まず驚いたのは東海岸と西海岸の天候の違いです。東海岸とは打って違って西海岸は比較的暖かく、過ごしやすかったです。有名な観光スポットであるハリウッドサインやウォークオブフェイム、リトルトーキョーを楽しんだ後、ラスベガスへ片道6時間のバスの旅で移動しました。ラスベガスはきらびやかな街並みやカジノが目を引きましたが、印象強いのはやはり年越しのカウントダウンです。大晦日には、ストリップ通りという大通りに多くの人が集まり、2019年から2020年に向けてのカウントダウンを花火と共に行ないました。各ホテルから花火が上がっているのを見てホテルの規模の大きさを感じました。1月1日の朝、ベガスの街を歩いた時に感じたのですが、日本の正月と異なり、どこのお店も開いており、私が思っている「正月」の雰囲気は無く、カウントダウン前と同じ街並みに戻っていました。海外の新年の雰囲気を肌で直接感じると同時にやはり、日本の1月1日が持つ特別感（初詣、おせち、お雑煮）が少し恋しくなりました。



✓ 友人との再会

ラスベガスを後にして、冬休み最後の目的地であるサンフランシスコに移動しました。サンフランシスコでは、福井大学英語科同期との再会を果たしました。彼らはアメリカはオレゴン州でインターンシップのプログラムに参加し、小学校の教員として子どもたちに日本語を教えています。置かれている環境は違えど、異国の地で頑張る同期と再会出来たことはとても嬉しく、久しぶりに一緒に過ごす時間を楽しみました。同期との再会で、春学期に向けてのエネルギーを蓄えることが出来ました！サンフランシスコでは、ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャーマンズワーフといった観光名所を回りました。



- 春学期スタート

- ✓ 新しい授業日程と自炊生活のスタート

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
08:00					
08:30					
09:00	ENIN451: Writing Review for Non-Native Speakers II	ENIN451: Writing Review for Non-Native Speakers II	ENIN451: Writing Review for Non-Native Speakers II		ENIN451: Writing Review for Non-Native Speakers II
09:30					
10:00					
10:30					
11:00	ART213: Film Photography		ART213: Film Photography		
11:30					
12:00					
12:30					
13:00	MUSC223: Survey of Jazz		MUSC223: Survey of Jazz		MUSC223: Survey of Jazz
13:30					
14:00		EDUC:151 Ethnicity		EDUC:151 Ethnicity	
14:30					
15:00					
15:30					
16:00				JAPN240: Experiences in Japanese	
16:30		EDU423: Integrated Reading Assessment and Instruction			
17:00					
17:30					
18:00					
18:30					

春学期の授業日程は上記の通りです。秋学期とは違い、朝が早い授業が週4であります。私は朝が弱いので毎晩、翌日起きれるか不安に駆られています…早寝早起きができるようメリハリをつけた生活を心がけています。授業の内容についてはまた今後の報告書でまとめていきたいと思えます。

また、今期から食堂でのミールプランの利用をやめ、シェアハウスでのキッチンを用いての自炊をスタートさせました。調理器具や食器等の必要なものは全て大学のものを使わせていただいているので本当に助かっています。自炊生活は人生で初めてなので、他のこととの両立が大変な場面がありますが、新鮮で勉強になることも多く、楽しむことが出来ています。

- Japanese Cooking Demonstration への挑戦

フインドレー大学では毎月、留学生が自国の料理を振る舞う Cooking Demonstration というイベントが毎月1回行われています。これまでの報告書では、参加者目線の内容ばかりだったと思いますが、今回はホスト側の目線から書いていきたいと思えます。今回、



カレーとお好み焼きを作りました。当日は学生や大学の職員の方合わせて、約 20 名程が来ていただきました。その中には、エクアドル、ネパール、インド、ナイジェリアからの留学生の姿もあり、フィンドレー大学の文化の多様性を改めて感じました。多くの方を前にして、英語で材料、作り方、日本でどのような時に食べられているかなど細かな説明するのは緊張しましたが、カレーやお好み焼きを美味しそうに食べている様子を見ることができ、嬉しかったです。お好み焼きは来ていただいた方がフライ返しでひっくり返すインタラクションを交えたのですが、それも成功したのでホッとしています。



この様子は、大学の日本語学科が季節ごとに出しているニュースレターに私が書いた記事が掲載されることが決まっています。

- その他のイベントについて

今月は上記以外の多くのイベントにも参加しました。フィンドレーの高校生を交えて、日本語や他の言語で特定の文章を翻訳して、言い方を一緒に練習したり、お互いの文化について話し合ったりするものや、日本語学科の学生と一緒に書き初めやお餅作りを行った新年会、フィンドレーの中国人のグループの方たちが旧正月をお祝いするイベントに日本代表としてよさこいを踊るなど本当にたくさんのイベントに参加することが出来ました。どのイベントも楽しく、冬休み以降久しぶりに会う人たちが多かったので思い出話に花が咲きました。

また、今学期からエクアドルの留学生がフィンドレー大学へ中期の留学プログラムで来ています。新たな出会いに今後の生活がますます楽しみになります。

最後まで読んで下さってありがとうございます。1月の報告は以上になります。ご質問等ございましたら国際課の方までご連絡お願い致します。